

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「私達は、自分らしく一人一人の人生が輝くように、地域の方と共にゆっくり楽しく心からの笑顔に触れられるような生活を目指します」という理念を、職員全員で作った。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送り時、職員全員が唱和し、理念の実践に向けたサービスに取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ホーム内に理念を張り出す。広報誌を町内に張り出すなどして家族の方、地域の方に理解してもらえるように努めている。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	新聞配達の人、肉屋さん、食品センターの人などとの交流があり、なじみの関係になっている。ねふた、宵宮などの行事への参加、小学校の廃品回収への協力、雑巾の寄付などしている。広報を毎月、館田町会へ回覧して交流に努めている。8/19キャラバンメイト養成研修受講予定しており、今後地域の認知症ケアの支援に役立てたい。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価について、全職員が月1回のGH会議などで職員に説明し、改善策の検討につなげている。職員の研修なども積極的に周知するようにsurし、改善策の検討につなげている。職員の研修については定期的に受講している。	
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で外部評価への取り組み、利用者へのサービスの報告をし、出席者と話し合いをし、新しい気付きもあり、今後のサービス提供につなげていく。	
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの広報誌を毎月市町村担当者に郵送して、状況報告している。業務上の疑問点が出た時は電話などで疑問点の解消に努めている。	
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業、成年後見制度について、学習会などで勉強している。必要に応じて、利用者、家族に情報提供していきたいが、現在は利用されている方はいない。	
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	学習会等で学ぶ機会を作り、全職員が認識しケアを行なっている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族の方に重要事項説明書で説明して、同意を得ている。疑問点などについては、随時説明している。退去に関しては家族の方に説明を行なった上で、納得のいく退去先に移れるようにしている。	
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常に入居者の悩み、苦情に耳を傾け、職員同士連携を取り対応している。他に、意見箱を設置している。	
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時など、ご家族の方に、ホームでの生活ぶりや健康状態をお話している。金銭については出納帳に記入し、月に1回は必ず確認していただき、印鑑又は署名してもらっている。	
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見や苦情等を随時聞き、職員間で連携を取り対応している。掲示板に苦情処理のシステムを明記し、意見箱を設置している。	
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	入居の受け入れや、入居継続についてカンファレンス等で職員の意見を聞き対応している。	
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者様の要望に対応できるようローテーションを組み調整を図っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設当初からの職員が半数おり、その他の職員も半年以上の方で、馴染みの関係ができています。他へ移動した職員も、時々ホームに立ち寄ってくださり、利用者は喜んでおられる。職員の急な休みにも対応できる体制はできています。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
17 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	三笠苑全体で取り組んでいる。月1回学習会で研修を受けている。他に外部での研修受講しており、報告書の作成、学習会での報告会を行い、全職員に周知している。		
18 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での実習や勉強会を実施し、サービス向上に努めている。(特にグループホーム5施設の情報交換、勉強会を実施している。)中弘南黒地区グループホーム協会へ加入している。		
19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員互助会で親睦をはかっている他に、業務上の悩み、ストレスについては管理者が職員の相談にのってやり、解決できない場合は上司に相談するように、ストレスの軽減に努めている。		
20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各種研修への参加、外部講師を招いての学習会の開催などし、職員が向上心を持って働けるように努めている。健康診断の実施等し、職員の心身の健康を保つ為の体制を整えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談に来た方に対しては、まずホームを見学していただき、雰囲気を感じていただく事から始めている。不安な事、困っている事に関しても話をじっくり聞く事になっている。	
22	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話を聞く事を第一にし、こちらで対応できることは対応し、できないことは他部所と連携をとり、本人、家族の方が今必要としているサービスの提供に努めている。	
23	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の方ばかりでなく、本人もホームを見学してくださるように勧めている。実際に来て、自分の目で見ること、安心していただけるようにしている。それから双方の意向に沿ったサービス開始となるよう、十分に話し合いを行い調整している。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の方と料理を作り、草取りをしたり、雑巾を作ったりと、一緒にする事で職員が逆に教えてもらったり、昔の話を聞いたり、喜怒哀楽を共にし、支えあう関係を築いている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ケアプランのサービス内容として、家族との外出、家族の面会などをあげ、協力していただいている。本人が不安などを訴えた時は家族に電話し、安心していただくようにしている。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人とは定期的に話をする機会を作っている。家族の方とは面会にきた時に、こちらから入居者様の状況を話すようにし、話しやすい雰囲気にも努めている。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方、友人の面会を積極的に進めている。近所の神社、一代様への参拝などを行っている。面会にこれない方に対しては、電話などで交流促している。		
28	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆様の自尊心を尊重し、対立した場合は職員が中に入り、お互いの意見を聴き、話題転換するようにしている。皆様一緒にいることで連帯感が生まれてきている。		
29	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院などにより他施設利用になった方に対しても声がけ、話をしたりし、職員の顔を覚えていただくようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的に話をする機会を作り、その際本人の希望、意向を聞き、時間を見つけ外出などの機会を作ったりしている。散歩に出かけ季節の花を見たり、昔行った事のある洋服屋さんに行ったりなど、本人の希望を聞くようにしている。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	さまざまな機会での生活歴、生活環境がわかることが多いので、職員がその状況を共有することで、その方に共通した心配りのあるケアに努めている。そして利用者のプライバシーを守ることも職員に統一している。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ホームの日課表はあるが、強制ではなく、本人の状態に合わせた過ごし方をしている。居室で過ごされることが多い方に関しては、定期的に訪室、声がけをしている。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3ヶ月に1回、ケアプラン会議を開催している。職員、管理者で話し合いを持って、計画を作成し、家族の方にもプランを見ていただいている。	
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、本人の希望を重視した計画としているが、本人の状態が変化した場合は、必要な関係者と話し合い、新しい現状に既した計画に変更する。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、ケアを個別記録に必ず記入し、変化のあった時は申し送り時報告し、情報の共有に努めている。介護計画の実践事項は、週1回は必ず記入するようにしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
36	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当ホームでは医療、連携体制をとっており、特別指示書による訪問看護を家族への説明と同意を得て行っている。本人の体力消耗がなく助かっている。体調急変時など隣接するケアセンター医師に診断をしていただいている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
37	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	市の文化祭への参加、ねぶた祭りへの参加、選挙の投票、行事のボランティアの方の協力、小学校の廃品回収への協力など、支援している。レク活動時使用の紙芝居は、図書館より借りて3ヶ月に1回交換している。		
38	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他町村の方が長期入院退所となった場合は、退院時の本人の状況に応じたサービスの提供をする為、他のケアマネジャー、他事業所との話し合いをし、家族の方も交えて、他の事業所利用の支援をしている。		
39	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	平川市は平成19年4月より包括支援センターがスタートした。権利擁護や虐待などについても、包括支援センターからパンフレットや資料を取り寄せ、必要時対応できるようにしたい。	○	入居者の方で権利擁護などを必要になられた方がいた場合は、相談に行きたい。包括支援センターでの事業で、当ホームが利用できるものがあれば、利用していきたい。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ダメージが最小限となるよう、移転先への、利用者の状況や習慣、好み、これまでのケア方法等について、詳細な情報提供を行う準備は整っている。現在まで移転のケースはない。</p>	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りを大切にし、できるだけ話を聞き、人生の先輩であるという尊敬の念を大切にされた言葉かけを心がけている。プライバシーの確保には十分配慮している。</p>	
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>職員がいつも、利用者の相談に乗ってあげられるような体制をとり、本人が思いや希望を表せるよう働きかけている。</p>	
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>グループホームの日課表はあるが、本人のペースに合わせ、強制はしていない。居室で裁縫している方、ぬり絵をしている方、各自の楽しみを持って過ごしている。</p>	
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>いつもの美容院で定期的にパーマをかけている方、センターの床屋さんに行っている方など、さまざまである。美容液なども定期的に購入されている方もおり、出かける際など、皆様身だしなみ、おしゃれに気づかわれている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
52	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
53	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
54	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
55	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
56	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分のお金を管理できない方に関しては家族からお金を預かり、受診時、必要時使えるように支援している。管理ノートを作っている。自分でお金を持って支払いするよう支援している。		
58	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望があり、出来るだけ外出できるように支援している。外出できない方でも、1日1回は外に出て、外の空気を吸っていただくよう支援している。(ただ無理はさせない)		
59	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月に1～2回、苑外活動として、ホームでの外出を行っている。温泉へ出かけたり、干支めぐりと称して神社めぐりを行っている。家族の方にも協力をお願いし、外出支援している。		
60	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人希望時、職員が電話をかけてあげたり、本人がかけたりし、家族、知人との交流を支援している。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会にいらした方には、笑顔で接することを心がけ、いつでも気軽にこれるような、家庭的な雰囲気の中で接している。面会時間を設定しているが、家族の都合に応じた柔軟な対応を行っている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
62	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	学習会で、身体拘束をしないケアについて職員は学習しており、実践している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
64	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
65	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
66	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
67	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
68	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族が面会に来た時に、こちらでの生活や、状態を説明している。その状態に応じて予測される点などを話し合い、対応の仕方を見直している。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
70	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの持病、アレルギーの有無、留意事項を把握している。表情や顔色に変化あった時は、小さな事でも伝達ノートを活用し、朝夕申し送り時に伝達している。また、異変があった際は受診をし、記録に残している。		
71	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の飲み忘れ等がないよう、服用の確認をし、介助必要な方に関しては、介助している。受診後、服薬が変わった時は、全職員に伝達し記録に残している。		
72	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬だけに頼らず、食材の工夫（りんご煮など）を行っている。適度な運動と水分補給をし対応している。		
い r	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	学習会で口腔ケアについて学習し、理解している。食後、口腔内の洗浄、入れ歯の手入れを行っている。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士さんがバランスを考え、メニュー作成している。入居者様に合わせた対応（おかゆ、きざみなど）をし、随時栄養士さんに相談できる体制であり、毎食後の食事摂取量も記入している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防に対しマニュアルを作り、職員個々に学習している。感染に関する情報を収集し、広報を通し家族の方にもお知らせしている。		
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	感染予防マニュアルを作成し実行している。食材に関しては、食材係を中心に在庫確認をし対応している。又、週間予定表に冷蔵庫の整理日も決め、衛生管理に徹底している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にフェンスがあるが、田んぼと隣接している部分にフェンスがなく、側溝になっている為危険である。玄関前に植栽、花（プランター）、及びベンチなどを設置し、職員と一緒にくつろげる場になっている。建物周囲にフェンスを取り付けるように検討している。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、ホール、各居室に鉢植えを置いたり、ホールの壁画を月毎に変えたり、季節感を出している。廊下の所々にベンチ、ソファを置き、疲れた時など休めるようにしている。ホールの一部に畳を敷き膝をおれる空間を作っている。新聞、雑誌なども置き、気軽に読んでいただけるようにしている。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのソファは、なじみの入居者様がゆったり会話できる場所となっている。また、中庭に芝生を植え、テーブル、ベンチを置き、プランターの花を見ながら、自然に触れながらくつろげる空間を作っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	自宅と同じ生活を送れるように、使い慣れた時計 や小物など持参し喜ばれている。		
81	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	定期的に換気をし、空気の入替えをしている。 温湿度計を見ながら、入居者に合わせた温度調 整をに対応している。		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	各居室に洗面所、トイレがあり、各自で物干しを 準備していただき、自分で洗濯を干したり、た たんでいただいたりしている。廊下には手すりや休 めるベンチなどを置き、安全で、自立した生活が できるようにしている。		
83	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	一人ひとりの力を職員が見極めて、できる事は自 分でしていただくように声がけし、できない事は 職員と一緒にやっていただくようにしている。		
84	○建物の活用  建物を利用者が楽しんだり、活動でき るように活かしている	1階、2階と分かれているので、午前のレク活動 は1日毎に1階、2階と行なっている。1U、2U の方との交流していただける様に工夫している。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている <input type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> ②職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様が職員と馴染みの関係を持ち、自分の思っていることを我慢せず、どんどん話せる環境作りを目指している。毎日10:00～11:00レク活動の時間をもうけ、ラジオ体操、早口言葉、音読、紙芝居、ぬり絵、折り紙など様々な活動をしていただいている。奥日報に載っている音読コーナーを毎日楽しみにしている入居者様が多い。入浴のない日は足浴を毎日行っている。